

普天間飛行場の概要

施設面積 4.763 km² (476.3ha : 東京ドーム約 100 個分)

普天間飛行場の特徴 全体の約**9割**が民有地

地主数 3,678 人 (平成 28 年 3 月末)

年間賃借料 約 73 億 5,900 万円 (平成 27 年度実績)

基地内軍人・軍属 約 3,200 人

日本人基地従業員 208 人 (平成 28 年 3 月末)

所有形態別面積の割合

国・県・市有地
約10%



宜野湾市の従業者数 32,429 人 (平成 28 年 経済センサス : 総務省)

普天間飛行場は市面積の約 1/4 を占めていますが、日本人従業員は 208 人で、市内従業者数のわずか 1/155 程度となっています。

普天間飛行場の常駐機 (58機)

MV-22B	オスプレイ	24機
CH-53E	スーパースタリオン	12機
UH-1Y	ヴェノム	6機
AH-1Z	ヴァイパー	12機
UC-12W		1機
UC-35D		3機



沖縄県の米軍基地

沖縄県は日本の国土面積のわずか約0.6%ですが、在日米軍専用施設面積の約70%が集中しています。

また、県人口の約8割が集中する中南部地区では、米軍基地面積の約77%が民有地となっており、国有地が約87%を占める本土の米軍基地との大きな違いとなっております。



在日米軍専用施設面積の割合

